

ソフトウェアのインストールのみでできる ネットワークカメラ自動制御

上級准教授 黒川 弘国



【概要】

○カメラを自動操作

ネットワークカメラは従来コンピュータなどの制御装置を経由して制御されているが、被写体空間の抽象情報(位置情報含む)をカメラの制御装置に登録しておくことにより被写体の位置を近似的に特定する方法を提案した。この方法により、ズーム操作やカメラの方向変更操作などが自動的に行うことができ、カメラの操作性を大幅に向上させることができる。

○ソフトウェアだけで機能強化

制御プロトコルが公開されているネットワークカメラに対して、特別なハードウェアの追加は不要で、カメラ制御装置への制御ソフトウェアの追加のみで実現可能である。

【実用化の可能性】

○ソフトウェアを既存のネットワークカメラ操作制御アプリケーションに組み込むことにより製品化可能である。

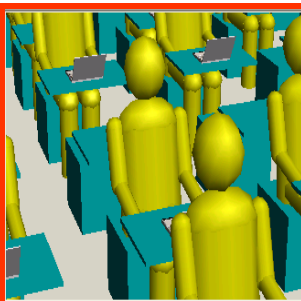
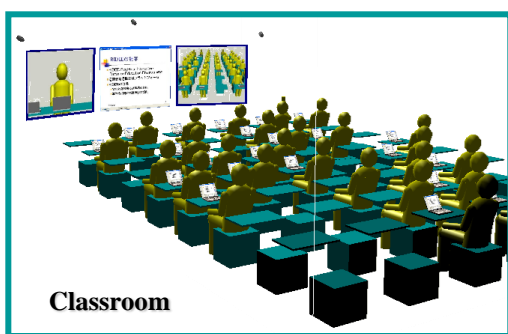
○このネットワークカメラシステムは遠隔教室や遠隔会場での運用のほか、公衆場所(市街地や広場、駅、学校、幼稚園などの構内)の監視用カメラの操作性向上に応用可能である。

【UBICからのメッセージ】

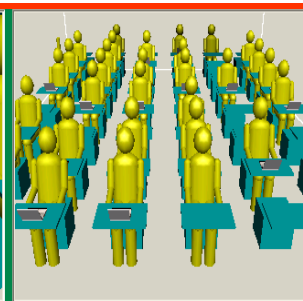
○本技術はPC上で被写体をクリックすることにより、その被写体がズームアップされるなど、ネットワークカメラの操作性が格段と向上します。

○既設カメラシステムのハードウェア部分は改造せずに、制御ソフトウェアをインストールするだけで実現できますので安価に機能強化ができます。

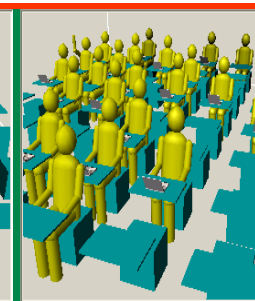
【研究内容の概要(遠隔講義の場合のイメージ)】



(C-2)左側

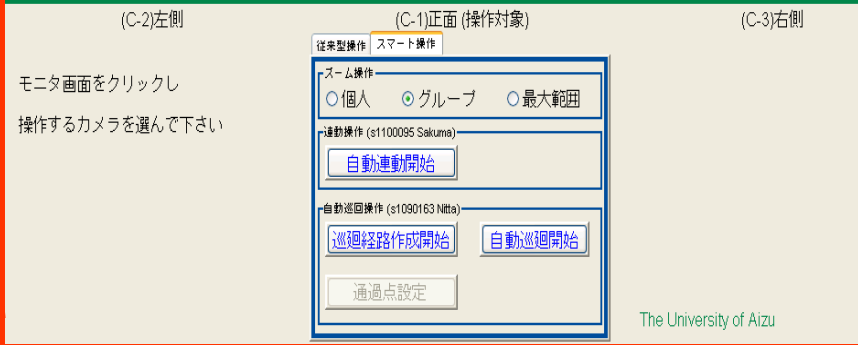
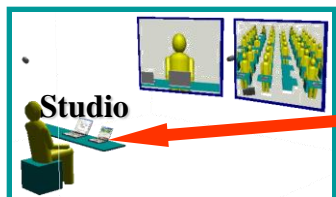


(C-1)正面(操作対象)



(C-3)右側

High-speed
Network



講師側のカメラ遠隔操作画面

指一本でカメラのパン・ズームなど一括制御